

小田原地下街の再生プランイメージ

■地産品マルシェ・お土産

◇安心・安全な地産品の品揃え

《例》・観光客だけでなく、地域住民も日常生活に欠かすことができない生活品を取り揃えた商品構成
・短期催事スペースを設け、“新しい特産品”の情報発信等



■情報発信・交流

◇観光施設などの情報発信や観光サービス提供の検討

《例》・地域特産品、季節イベントの開催等
・荷物預かり、宅配、インターネットなどのサービスの検討



■催事イベント

◇特設イベントでの観光客との交流



【コンセプト】
日常と観光が重なる楽しさの創造

【キーワード】
小田原らしさ、地産地消、限定、発見、発信、交流、体験、にぎわい

■商業

◇地域に密着した利便性を軸とした商業展開

◇駅前という立地を活かし、地下街への集客・駅前周辺に賑わいをもたらすような店舗構成



駅から

■小田原の食の提供

◇特産物をその場で味わえる

《例》・観光客だけでなく、地域住民も繰り返し楽しめる「本物の飲食」を集積



※施設概要

○所在：小田原市栄町一丁目559番地3外

○構造：鉄骨鉄筋コンクリート造

陸屋根地下4階付3階建〔竣工S51.11.15〕

○用途：貸店舗、事務所、機械室、地下歩道等

○面積：7,983.76㎡

※土地所有区分

全体面積：6,531㎡

(内訳 JR東日本：3,319㎡、小田原市：3,212㎡)